

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（3日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	塩竈市	代表者名	佐藤 光樹
担当者部署	市民総務部財政課デジタル推進室	連絡先電話番号	022-355-5782
担当者役職	主査	担当者氏名	木村 友洋
住所	985-8501 宮城県塩竈市1番1号		
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	本市として、目的が不明確な中でアドバイスを求めた内容でしたが、現在のご自身の業務や役割、デジタル人材登用に関する状況や注意点などを具体的に説明いただき、参考になりました。 また、自治体が抱える課題や考え方に対する問題点などをはっきりと示していただけて、本市としてはどうなのか、をしっかりと考えることができ、有意義なディスカッションができました。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月3日	10時00分	11時00分		60
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 自治体DX担当及び人事担当職員	人数 5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>本市は、全体的に職員ICTリテラシーがかなり低く、またほとんどのシステムでベンダーのロックインが生じ、ベンダー担当者に職員自身がやるべき対応も委ねることに違和感をなくしている状態です。 そうした問題を解決する手段の一つとして、CIO補佐官として専門的な知識・経験を持った外部人材の登用を検討しています。しかしながら、CIO補佐官に求めるべき役割や採用方法などをどう考えるべきか、悩みどころとなっています。</p> <p>現職のCIO補佐官であるアドバイザーの川口様より、他自治体での業務内容や役職に就かれた経緯などを伺うことで、本市での外部人材登用における課題の洗い出しやヒントを得たい。</p> <p>現職のCIO補佐官として、行われている業務内容・勤務条件や就任の経緯をご説明いただきました。 また、外部人材登用での他自治体での募集方法や業務内容の傾向をお答えいただき、外部人材登用を検討している自治体がかかるべき課題は何か、といったことなどアドバイスをいただきました。</p> <p>CIO補佐官の業務内容として、漠然と調達や仕様書の精査といった支援を考慮しており、本市の情報システムの現状と課題を踏まえた検討が不十分であったことを認識させていただきました。 また、自治体がデジタル人材を外部から募集するにあたっての注意点もご説明いただき、今後検討していく上での道筋を確認することができました。</p>	
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）		
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）		
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）		
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回支援を求めた外部人材登用については、具体的な検討前であり、情報収集や今後の考え方に対するアドバイスをお願いしたものであるため、CIO補佐官に求める役割など、継続して検討していきます。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 助言を求めたものであったため、アンケートは行いませんでした。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		